



生駒駅周辺の教育・福祉機能を再配置

～令和 7 年 生駒市議会（第 5 回）定例会に補正提出～

生駒駅前周辺の教育・福祉施設の事業再配置による整備と移転事業を進めるため、令和 7 年度中に設計を行います（別紙参照）。

■ 事業の再配置の内容

- 1 「RAKU-RAKU はうす」の機能を見直し、現在の幸楽の機能と介護予防教室を現在の「RAKU-RAKU はうす」に集約

「RAKU-RAKU はうす」（生駒市谷田町 1600（アントレいこま 1 屋上））の機能を、令和 7 年度末の指定管理終了にあわせて見直し、多世代交流事業（「RAKU-RAKU はうす」の高齢者交流機能を含め、多世代の人たちが交流できる居場所づくり）として実施するとともに、現在の「幸楽」（生駒市北新町 3-1）に配置・実施している「パワーアップ plus 教室」、地域包括支援センター、生駒市社会福祉協議会の機能の一部と駅前の公共施設で開催していた各種「介護予防教室」を令和 8 年度中に現在の「RAKU-RAKU はうす」に集約・強化します。

- 2 令和 8 年度中に「学びの多様化学校」を現在の幸楽に新たに整備し、現在の教育支援施設の機能を同校内に移転（別紙「「学びの多様化学校」の整備」参照）

- 3 現在の教育支援施設の活用

活用については、引き続き検討します。

■ 事業の再配置で期待される効果

支援機能の強化（集約化により事業間の連携が密接になることで、参加者が居場所の担い手となるなど社会参加が促進される、また、百貨店内に立地することで、買い物支援などを効率よく提供できる など）やサービスの利便性向上に加え、公共施設の維持管理コストの削減、長寿命化を図ります。

■ スケジュール

令和 7 年度 デイサービスセンター幸楽、RAKU-RAKU はうすの指定管理終了

令和 8 年度 「RAKU-RAKU はうす」建物の改修工事、介護予防・福祉機能を集約し、「RAKU-RAKU はうす」建物に移転・使用開始、「幸楽」建物の改修工事

令和 9 年度 「幸楽」建物において「学びの多様化学校」開校、「教育相談室」「ユースネットいこま」を「幸楽」建物に移転

■ 事業費

・委託料（設計） 771 万 1 千円

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市地域共生社会推進課（課長 上野） ☎0743-74-1111（内線 6050）